

墨田区議会

自由民主党会派報

発行
墨田区議会自由民主党
墨田区吾妻橋1-23-20
発行責任者 沖山 仁
編集責任者 田中 邦友

区議会ホームページ
<http://www.city.sumida.tokyo.jp/kugikai/>

財政を健全化し、元気な墨田を創ります。



後列左から/榎井浩之、木内 清、小池武二、藤崎よしのり、坂下 修、中嶋常夫、田中邦友、樋口敏郎
前列左から/中沢 進、松野弘子、西原文隆、藏澤良仁、出羽邦夫、沖山 仁、早川幸一、中村光雄、阿部幸男

区民が主役の区政 実現に向けて！



墨田区監査委員
小池 武二

現下の区を取り巻く社会経済環境は極めて困難な状況にあり、区は、これまで以上に効率的な行政運営が求められております。そして同時に、地方分権をめざし、住民のための、真の地方自治を確立し

ていかねばなりません。そのためには、情報公開を積極的に行い、行政の透明性を高めていくこと、そして、もうひとつは、監査機能を充実して、行政の効率性を問いつづけていくことが必要だと思っております。監査委員の職責は、かつてなく重大なものになっております。常に公正不偏の態度を保持して、監査をしなければなりません。私は、この職責を果たすべく、全力を尽くしていく所存です。



第54代
墨田区議会議員
出羽 邦夫

区は、これまで危機的な経済状況の中で財政健全化に向け行政改革に精力的に取り組んできました。その到達点は見えてきましたが、更に徹底した行政のスリム化を図らなければなりません。そして、生み出した

財源で、地域の特性を生かしたまちづくり、住民が安心して暮らせるまちづくりに積極的に取り組むことが大切です。今は不安の時代です。区は、住民にもっと身近な自治体として、区民の将来への不安を、安心に変える施策が求められています。私は、区議会がこれらの期待に応え、「行政のチェック機能」と「区民の要望、意見をふまえた区の将来像の具現化」を果たせるよう、円滑かつ活発な議会運営に精一杯努めてまいります。



墨田区議会
自由民主党幹事長
沖山 仁

この度の墨田区議会議員選挙は、我が会派統一後、初の選挙でありました。多くの皆様から多大なるご支援ご協力を戴き、無所属議員を含め十七名による議会の会派構成ができましたこと厚く御礼申し上げます。我が会派に課せられた責任は重く、身の引き締まる思いであります。今後とも初心を忘れず、住みやすい墨田区づくりに、会派一同全力を尽くす決意でありますので、どうかよろしくお願いいたします。

現下の経済状況は大変厳しく、いまだに財政危機を乗り越えることができない状況にあります。しかし、この財政問題は避けて通れないことであり、引き続き行政改革に取り組み、行政の更なるスリム化を図り、健全化に向かって区政を進めていかなくてはなりません。私ども会派一同、責任政党として十分な自覚をもちながら、行政との適切な緊張関係を維持しつつ墨田区の発展、区民の安心と発展を目指していかねばならないと、決意を新たにしています。今後とも、相変わらずのご指導と激励を賜りますようお願い申し上げます。
副幹事長 西原 文隆
副幹事長 坂下 修
副幹事長 田中 邦友
副幹事長 榎井 浩之

我が会派の要望実現！ 小中学校の普通教室冷房化 平成16年度一斉実施へ！！

第2回定例会での質問概要 平成15年6月6日(土)30日

代表質問



坂下 修

●区政運営の基本的取り組みについて

選挙を通じて、区民からの区政に対する意見をどう受けとめ

たか。

問 回復どころか後退局面を続けるわが国の経済状況の中、新しい発想や創意工夫で技術や経営の革新に積極的に取り組み、この難局を何とか切り拓こうと努力されている姿に接し、大変心強く感じました。明るく元氣な墨田づくりをして欲しいという区民の期待に応えたい。

答 平成十六年度財政の収支均衡削減は限りに達しているのではないかと。

問 財政の健全化を区政の最重要課題と位置付け、区民の皆様のご理解、ご協力のもとその実現に全力で取り組み、その結果、現在の経済状況で推移すれば十六年度に概ね収支均衡が確保できる見通しとなった。しかし、今後の財政の収支均衡には行政改革実施計画を着実に実施し、引き続き人員削減の削減等を図る必要がある。

●八広小学校の室内空気汚染問題について

問 八広小学校の増設校舎が、国の基準を上回るトルエンの検出値でありながら校舎の引渡しを受け、その教室に生徒を入室させたこと、また、対応が遅れた事情と責任をどのように認識しているか。

答 開校までの期間内に基準値以下に収まるとの見通しを持つ

など、認識の甘さがあった。また、安全確認や連絡体制に不備があり、責任の重大さを痛感している。一日も早く正常な教育環境となるよう全力で取り組む。

問 区施設全般に、早急に室内空気汚染防止策を講じたい。

答 再発防止のために、化学物質対策マニュアルの整備等を当面の対策として、また、室内空気環境対策検討委員会を立ち上げ、再発防止と適正化に取り組み、健康と安全を第一に考えた施設づくりを進めたい。

●小中学校普通教室の冷房化について

問 都市部を中心とするヒートアイランド現象の中、夏場の学習環境も劣悪化しており、普通教室の冷房化は不可欠だ。早急に実施すべきである。

答 本来、小中学校一斉に冷房化すべきであるが、区財政の状況からは困難である。本年は中学校三年の普通教室冷房化を行い、十六年度には一斉に冷房化の実施を考えている。

●荒川河川敷グラウンドの整備について

問 本年十月から荒川河川敷の緑地整備が完了し、グラウンドが狭く、野球場は社会人用として使用できなくなる。その対策をどう考えているか。

答 河川敷の屋外体育施設は多く、園に活用されようとするため、工事の影響を極力少なくするよう、園に要望を行った結果、国もその方向で検討した旨の報告があった。当面は、既存施設の整備、充実に努め、新施設の整備は今後の検討課題とする。

問 工事を利用して、散水用の水道施設、水洗トイレの設置を

すべきである。

答 水洗トイレの改修等は速やかに対応する。

一般質問



早川 幸一

●更なる行政改革の実施について

問 区長は、選挙公報の中で「徹底した改革によるスリムな行政の実現」を訴えており、私も同感である。

答 わが区の中小企業業者は、長引くデフレ不況の嵐の直撃を受け、転業、廃業はもろろんのこと、業績の低下、売上減少など未だかつて経験したことのない大変な状況に打ちのめされている。

この状況の中で、平成15年度の予算によると、区一般職員一人当たりの年平均人件費は九百三十七万円の高額である。しかも定年退職金は標準的なモデルで約二千九百万円、課長級で約三千六百一十一万円、部長級で三千六百六十六万円である。特別職は更に優遇され、一四四万円、助役は一千二百七十一万円、収入役、教育長はそれぞれ八百三十七万円、区民の実態から見れば、人件費も退職金も夢のような高額である。また、年金をみると、国民年金は四十年のモデルで約八十万円、厚生年金は約二百四十万円、職員の共済年金は約二百六十万円である。その上、労基法に適合しているとはいえず、一年のうちお休みが百四十五日、約五ヶ月とあらゆる面で恵まれている。

行政改革を実行するには人件費を削減するか、職員を削減するかである。例えば、職員を十一人減らすと約一億円の節約ができる。そこで、職員の削減について伺いたい。

答 一般職の退職金は原則に基づいて支給しており、その割合や算出方法は国や都、二十三区との均衡により定められている。特別職の退職金は一般職員との均衡上定められているが、区民生活の実態をみてどうかとの意見は、真摯に受け止めたい。国では、国家公務員退職手当法等の改正により退職手当の支給割合が見直された。区職員も早晩見直しを求められるが、特別職についても報酬等審議会の参考意見も聞き、適切な対応を図りたい。

●錦糸町体育館の改築について

問 十五年度の予算に、総合体育館のPFI導入の可能性検討費が計上されたことは、改築への第一歩が踏み出されたと期待する。

答 財政難の折から、初期投資をしのけるPFI導入の可能性は大きい。地元企業が排除される傾向が見受けられるため、区内業者保護とのすり合わせが必要となる。また、錦糸町体育館改築を含めた錦糸公園の再整備計画をPFI事業として計画すべきである。

●今年度、総合体育館建設をモデルに具体的な検討を開始したが、中小企業参入には、どのような仕組みづくりが考えられるか検討するよう指示している。当面は、錦糸公園の基本計画を核として、十六年度より外環整備を行う。その後、具体的な整備段階において十分に研究したい。

暑中お見舞い申し上げます

ご相談はお気軽に！もよりの議員へ

樋口 敏郎 八広三六二二九

桜井 浩之 立花五二八二二

沖山 仁 京島三一九一八

田中 邦友 八広一三九一七

中嶋 常夫 墨田三三〇一七

藤崎よしのり 向島五二四一三

出羽 邦夫 八広四二二一九

木内 清 本所一九一八

小池 武二 八広六四一五〇六

坂下 修 向島三二一八二〇

中沢 進 墨田一五一九

阿部 幸男 京島三二一八二〇

松野 弘子 墨田三三〇一七

中村 光雄 向島四一七〇一〇〇三

西原 文隆 押上二二五一五

滝澤 良仁 墨田五二四一三

早川 幸一 石橋三一九一八

編集後記

選挙後、新たな墨田区議会が構成され、「財政の健全化」をはじめとする重要課題が山積する中、平成15年度第2回定例会が開かれ、本格的な議案活動がスタートしました。昭和22年に始まった墨田区議会、今年で50周年(下期定例会)にあたりますが、「11世紀の墨田」の区政を方向付ける重大な節目でありました。今までも、我が会派の議案活動は、逐一区民の皆様にお伝えしてきたところですが、皆様のご意見、ご要望を踏まえ、より良い墨田づくりを目指した議案報告を続けてまいります。どうか、皆様のご要望をこまめに伺わせてください。 前中 記